

祝 倉吉駅開業120周年



明治36年（1903年）12月20日開業！

明治35年（1902）11月1日に山陰で鉄道が運転開始

倉吉町では1891（明治24）年陰陽を結ぶ鉄道敷設を山陰地方で初めて政府（当時の貴族院議長伊藤博文宛）に請願しました。

しかし倉吉のどこに鉄道を通すかで意見が分かれました。当時は汽車が走ると土地が動いて稲が切れたり割れが起きたり、煙で農作物が不作になるなどの反対があったからです。

日下村（後の上井町）の村長福井善十郎は村に鉄道を通すことが村の利益と考え、鉄道がすでに開通していた米子方面の状況を視察し、農業への被害がないことを確かめて農民を説得しました。そして当時農地としてはよくなかった上井を鉄道関係施設用地として提供することにしました。そして1903（明治36）年に境港から上井まで山陰線が開通しこの駅は【倉吉駅】と称しました。



昭和40年代上井駅
（明治45年上井駅に改称）



1972年（昭和47年）
新駅舎完成（倉吉駅）



2011年（平成23年）
橋上駅舎完成

【倉吉駅のあゆみ】

1903（明治36）年 倉吉駅（初代）開業

1912（明治45）年 上井駅に改称

（2代目倉吉駅は後の打吹駅）

鉄道開通後、倉吉町民は倉吉町を鉄道が通らないことに不便不利を感じ、鉄道敷設を請願この年上井～倉吉間に軽便鉄道が開通、終点駅が倉吉駅となり従来の山陰線倉吉駅は上井駅に改称

1972（昭和47）年上井駅を倉吉駅（3代目）に改称

倉吉駅（2代目）は「打吹駅」に改称

倉吉駅3番ホームに置かれている石碑と橋脚。

橋脚は1908（明治41）年こ線橋（陸橋）として建設され平成23年の駅橋上化にともない役目を終えたために撤去されましたが、山陰鉄道開通当時の貴重な文化遺産としてこの場所に保存されています。



【作成者】 エキパル倉吉施設管理者 NPO 法人ふるさと遊誘駅舎館

旧駅舎写真協力：上井地区振興協議会発行「昭和の上井記録写真集 継（つなぐ）」

掲載記事：倉吉市教育委員会発行「くらしの風土記～倉吉学入門～」より抜粋